



里の風

一緒に暮らそう京都丹波



“移り住む方”と“受け入れる地域”の架け橋 京の田舎ぐらしナビゲーター

移住を検討されている方に対し、地域の窓口として対応を担っていただくべく、地域の事情に詳しく、地域活性化に想いがある方を市町村からの推薦に基づき京都府知事が認定しています。

移住を検討されている方の相談や不安に応えるため、地域の暮らしに関する説明やアドバイスを行うほか、実際に地域を案内、また移り住まれた後も、地域に円滑に溶け込めるようフォローするなど、地域の未来のために日々活動されています。

本通信では、京都丹波エリア（亀岡市・南丹市・京丹波町）でご活躍されているナビゲーターさんの活動の様子や移住情報について紹介していきます。



問合せ先
(作成・発行)

京都府南丹広域振興局農林商工部地域づくり振興課 電話：0771-22-0153

* (一社) 森の京都地域振興社 (森の京都DMO) 委託事業

ナビゲーターさん 活動紹介

何度も通ってもらう仕組み作りを

亀岡市
宮前地区

にしだ たかおみ
西田 孝臣 さん

▶ 着任のきっかけ

「京阪神エリアの方に、亀岡の暮らしの魅力をもっと知ってもらいたい」と感じたのが出発点です。私の理想は“恋愛型の移住”です。何度も通って交流を深め「この地域に住みたい」と思ってもらえるような移住の形。これを実現するため、個々に活動していた地域リーダーに呼びかけし、「かめおか里山ネットワーク」を立ち上げました。令和7年10月からは、田舎暮らし体験住宅「桑山邸」の運営をスタートしました。

▶ 活動で心掛けていること

地域では「人が減っても仕方ない」と諦めムードになってしまうこともありますが、私はその空気を変えたいと思い活動しています。活動が少しずつ地元の方にも認知され、地域として色々な方を受け入れる空気が広がり、移住者を中心とした若い世代も地域活動に参加してくれています。ナビゲーター活動を通じて、「地域を次世代につなぐ」動きがもっと広がっていくよう頑張っていきたいと思っています。

▶ 地域の魅力

里山ならではの自然や人のつながり、そして“心の豊かさ”です。都市部に暮らす人たちの中には、「子どもに自然環境で育ててほしい」「自分でも野菜を作りたい」「地域の行事に関わってみたい」といったニーズを持つ人が多くいます。そうした想いと、田舎の人手不足や活気の低下といった現実をマッチングできる可能性があると感じています。



かめおか
里山ナビ
satoyama-navi.com



楽しさを忘れず地域と人を繋ぐ

南丹市
鶴ヶ岡地区

こばた まなぶ
小畑 学 さん

▶ 着任のきっかけ

振興会長職とセットで担うことになりました。以前作成した「地域の教科書」をもとに、移住希望者の方に地域の概要や暮らしについてお話しています。私は地元で生まれ育ち、大学進学と就職で約10年間地域を離れていました。戻ってきてからは、地域への「お礼奉公」のような気持ちで活動しています。地元のことを「分かっているようで分かっていない」そんな立場だからこそ、外から来られる方の目線にも、少しは近づけるのかなと思っています。

▶ 活動で心掛けていること

一番大事にしているのは、「楽しくやること」です。主催する側が楽しめていないイベントに、来る人が楽しめるはずがないと思っています。だから、役員の皆さんにもよく言うんです。「やるからには楽しくやりましょう」「楽しくできへんイベントなら思い切ってやめましょう」と。どうせやらないといけないことなら、気持ちよく、効率よくやった方がいい。そういう積み重ねが、地域を続けていく力になると思っています。

▶ 地域の魅力

集落ごとに受け継がれてきた伝統行事があります。特に諏訪神社の「棚野の千両祭」は15年から20年に一度に行われる大行事です。歴史ある魅力的な伝統行事ですが、少子高齢化により人手が足りません。そこで、地域外の方にも「一緒に関わってもらえたら」という想いで声をかけています。伝統行事を通して「ここなんか面白そうやな」「また来たいな」と思ってもらえたら、地域にとっては大きな力になります。移住された方や移住を検討されている方へ、地域の魅力を知ってもらえると嬉しいです。



Tsurugaoka Promotion Organization
京都 美山 鶴ヶ岡振興会



子どもが主役の地域づくりへ

京丹波町
桧山地区

うめがき はるみ
梅垣 晴美 さん

▶ 着任のきっかけ

もともとは「ちょっと手伝ってみたい?」というような軽い依頼から始まりました。活動内容を聞いてみると「地域に人を呼び戻したい・移住者を増やしたい」という目的にとても共感できて、やってみようと思いました。実は私自身、Uターン者です。20代半ばに京丹波町に戻ってきて、当時すでに20年ほど経っていました。Uターンしてくる人って案外少なくて、地元ですっといる人がIターンというパターンが多い中、私はちょうどその中間のような立場だからこそ、両方の気持ちが分かるのかなと思います。

▶ 活動で心掛けていること

一番大切にしているのは、「地域の魅力を伝える」ことです。住んでいる人にとっては当たり前だけど、外の人にとっては魅力的な部分を、できるだけ伝えるようにしています。桧山は保育所から中学校までが揃っていて、徒歩でも暮らしが完結できる場所もある珍しいタイプの田舎です。子育て世代や移住者同士のつながりも早く生まれやすい環境で、子どもが3人以上いるご家庭が多いのも印象的です。すぐに地域の輪に入り、居心地よく思ってもらえるよう、つながりを作っていくことも心掛けています。

▶ 地域の魅力

やはり「自然」と「人の温かさ」だと思います。私が都会から帰ってきたとき、山々の緑がキラキラしていて「いい場所だな」と感じました。また、地域が手づくりで取り組む「夕涼み大会」などのお祭りも復活し、特に子どもたちが主役になって盛り上げています。地域に対する愛着を子どもたちに育ててもらい、将来的にUターンや定住につながればと思っています。空き家物件も今では人気です。ただ、空き地を相続したままの方もいて…。柔軟な活用が進めば、これからもっと人が住めるようになると思います。



京丹波町桧山地区移住ガイド

田舎ぐらし、定住、空き家、田舎で子育て



「京の田舎ぐらしナビゲーター交流会」を開催しました!



↑ グループで熱心に話し合う様子

令和7年8月29日(金)に、京都丹波地域のナビゲーターが一堂に会する交流会を開催しました。まず、本誌で紹介している3名のナビゲーターによる活動事例報告を行い、その後、参加者間で“地域でできる移住に繋がるアイデア”を考えました。その中の一つに、既存の地域行事に「ナビゲーターによる移住相談ブースを設け、地域外にPRする」という意見があり、実際に取り組まれた地域もありました。地域の垣根を越えた活発な交流の場となりました。

----- 活動事例報告テーマ -----

- ・ 亀岡市 西田ナビゲーター「お試し田舎暮らし住宅について」
- ・ 南丹市 小畑ナビゲーター「旧小学校を活用した田舎ぐらし体験イベントについて」
- ・ 京丹波町 梅垣ナビゲーター「子どもが主役になる地域づくりについて」

オススメ!

地域イベントは「京都府移住・定住情報サイト」に掲載しています!

- ✓ 京都丹波地域で移住を考えている方
- ✓ 田舎ぐらし、里山暮らしに興味がある方
- ✓ 地域住民と繋がりたい、交流したい方など

ご参加お待ちしております!



QRコードからご覧ください→



↑ 亀岡市千歳地区「丹波七福神宝船まつり」



↑ 南丹市西本梅地区「にしほんめ秋祭り」

「京の田舎ぐらしナビゲーターによる移住相談ブース」

情報のひろば

空き家の悩みは、みんなの悩み



京都丹波の3地域で空き家をテーマにしたセミナーを開催し、合計で41名の方にご参加いただきました。

参加者の多くは“空き家予備軍”とされる夫婦二人暮らしもしくは一人暮らしの方で、「家の将来について決まっておらず、家族とも話し合えていない」という不安を抱えておられました。講師の先生によると、空き家とは「1年以上住んでいない家or使われていない家」のことだそうです。家は人の出入りがなくなった途端に朽ちていきます…。大切な家を、故郷の風景を、子どもや孫世代、移り住んでこられた方などに引き継ぐために、今から“家族”や“地域”で考えていくことが大切です。

今回の取組にご協力いただいた、ナビゲーターさん、自治会等の地域のみなさま、ありがとうございました。

あなたの一歩が地域をもっと元気にします！
お気軽にご相談ください

講師：一般社団法人全国空き家アドバイザー協議会
京都府亀岡支部

☎ 0771-55-9029



Point!!

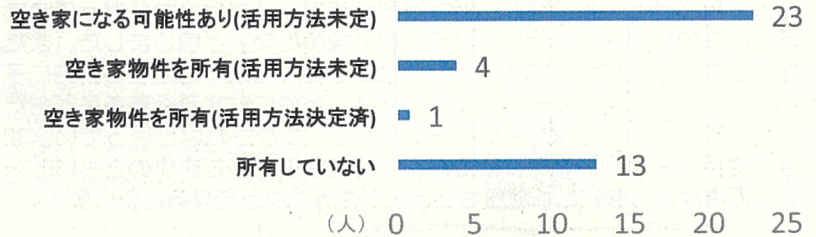
空き家にしないための第一歩

- ① 元気なうちに家族で話そう（親から）
- ② 登記内容や相続人を確認しておこう！
- ③ 家の将来や自分の想いを“見える化”

住まいのエンディングノート



家の状況【参加者アンケートより】



「京都丹波流会～繋げていこう移住の“えん”～」を開催しました！



京都丹波地域を盛り上げる中間の“えん”（縁・円）をつくり、広げていくきっかけとなるよう、令和8年2月10日（火）に交流会を開催しました。

移住後に飲食店や農家民宿などを起業された方、就職をきっかけに移住された方、京の田舎ぐらしナビゲーター、地域おこし協力隊、京都移住コンシェルジュなどなど、多様な方々が集まり、次に繋がる交流が生まれました♪

移り住んでこられた方と受入地域の住民の方の交流会は、各地域でも開催されています！

「地域で馴染めるかな…」 「どんな方が隣に住んでいるのだろう」 「楽しく暮らしたい」 など、双方の不安感や期待感をキャッチボールする良い機会になっているよう。本誌の副題 “一緒に暮らそう” 精神、素敵です！

亀岡市公式サイト

愛せる町で、育てたい。
あなたに、亀岡移住という選択肢。



企画調整課 ☎ 0771-25-5006

南丹市公式サイト

なんくら
nancla



地域振興課 ☎ 0771-68-0019

京丹波町公式サイト

おかえりなさい
森と共に生きる町
京丹波



企画情報課 ☎ 0771-82-3801

京都府公式移住・定住情報サイト

今日と明日
KYOTO LOCAL LIFE



京都丹波
移住情報マップ

